

## 鹿兒島湾から得られたオオメメダイ科魚類ミナミメダイ

畑 晴陵<sup>1</sup>・岩坪洸樹<sup>2</sup>・本村浩之<sup>3</sup><sup>1</sup> 〒 890-0065 鹿兒島市郡元 1-21-24 鹿兒島大学大学院連合農学研究所<sup>2</sup> 〒 892-0847 鹿兒島市西千石町 11-21 鹿兒島 MS ビル 鹿兒島水圏生物博物館<sup>3</sup> 〒 890-0065 鹿兒島市郡元 1-21-30 鹿兒島大学総合研究博物館

## ■ はじめに

オオメメダイ科 Ariommatidae はオオメメダイ属 *Ariomma* 1 属からのみなり (Haedrich, 1967; Haedrich and Horn, 1972; Last, 2001), 日本からはミナミメダイ *A. brevipanum* (Klunzinger, 1884), マルイボダイ *A. indicum* (Day, 1871), およびオオメメダイ *A. luridum* Jordan and Snyder, 1904 の 3 種が知られている (中坊・土居内, 2013). そのうちミナミメダイはこれまで鹿兒島県内において奄美群島と論島近海, トカラ列島口之島近海, および薩摩半島西岸から知られている (畑, 2014; 畑ほか, 2016).

2013 年 6 月 14 日に鹿兒島湾から 1 個体のミナミメダイが採集された. 本標本は同海域における本種の標本に基づく初めての記録となるため, ここに報告する.

## ■ 材料と方法

計数・計測方法は Tabeta and Ishida (1975) にしたがった. 標準体長は体長と表記し, 体各部の計測はデジタルノギスを用いて 0.1 mm までおこなった. ミナミメダイの生鮮時の体色の記載は, 固定前に撮影された鹿兒島県産の標本 (KAUM-I.

55310) のカラー写真に基づく. 標本の作製, 登録, 撮影, および固定方法は本村 (2009) に準拠した. 本報告に用いた標本は, 鹿兒島大学総合研究博物館 (KAUM) に保管されており, 上記の生鮮時の写真は同館のデータベースに登録されている.

## ■ 結果と考察

*Ariomma brevipanum* (Klunzinger, 1884)

ミナミメダイ (Fig. 1)

*Cubiceps brevipanum* Klunzinger, 1884: 116, pl. 12 fig. 3 (type locality: Al-Qusair, Egypt).

*Ariomma evermanni* Jordan and Snyder, 1907: 209, fig. 1 (type locality: Honolulu Market, Oahu, Hawaiian Islands); Haedrich, 1967: 93 (Hawaiian Islands); Haedrich and Horn, 1972: 21 (Hawaiian Islands); Masuda et al., 1975: 247, pl. 71-G (off Okinawa-jima island, Japan); Kyushin et al., 1982: 251 (South China Sea); Nakabo, 1984b: 227, pl. 234-B (Okinawa-jima island and Hawaiian Islands); Chen and Thang, 2015: 1920, unnumbered fig. (South China Sea).

*Cubiceps thompsoni* Fowler, 1923: 378 (type locality: Honolulu Market, Oahu, Hawaiian Islands).

*Ariomma brevipanum* (Klunzinger, 1884): Haedrich, 1967: 93 (Red Sea); Tabeta and Ishida, 1975: 175 (Aji-sone, off Amakusa Islands, Kumamoto, Japan); Nakabo, 1984a: 227, pl. 352-N (Amakusa Islands, Japan; Red Sea); Ajid and Mahasneh, 1986: 136 (Aqaba, Jordan); Suzuki et al., 1995: 64 (Wagu, Shima, Mie Prefecture, Japan); Okamura, 1997: 663

Hata, H., H. Iwatsubo and H. Motomura. 2017. First record of *Ariomma brevipanum* (Perciformes: Ariommatidae) from Kagoshima Bay, southern Japan. *Nature of Kagoshima* *Nature of Kagoshima* 43: 197-200.

☑ HH: the United Graduate School of Agricultural Sciences, Kagoshima University, 1-21-24 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan (e-mail: k2795502@kadai.jp).

(Tosa Bay, Japan); Suzuki and Kataoka, 1997: 193 (Wagu, Shima, Mie Prefecture, Japan); Mima, 2002: 2 (Kushimoto, Wakayama Prefecture, Japan). *Ariomma brevimanum* (Klunzinger, 1884): Karrer, 1984: 94 (Red Sea; Java and Sumatra, Indonesia; Japan; Hawaiian Islabds); Yamada and Kudo, 2000: 27, fig. 3-5 (Morosio, Miura, Kanagawa Prefecture, Japan); Last, 2001: 3783, unnumbered fig. (Red Sea, Indonesia, Japan and Hawaii); Ho et al., 2010: 258 (Hualien, Taitung, and Chenggong, Taiwan); Nakabo and Doiuchi, 2013: 1084 (Misaki, Kanagawa Prefecture, Shima, Mie Prefecture, Kushimoto, Wakayama Prefecture, Tosa Bay, Bungo Channel, Amakusa Islands, Kumamoto Prefecture, and Okinawa-jima island, Japan; Hawaiian Islands; Mariana Islands; Sunda Islands; Red Sea); Bos and Gumanao, 2013: 2, fig. 1 (Samal Island, Philippines and Hurghanda, Egypt); Ho et al., 2013: 10, fig. 6 (Hou-bi-hu, Kenting Nation Park, Pingtung, Taiwan); Hata, 2014: 583, unnumbered fig. (Yoron-jima island, Amami Islands, Kagoshima Prefecture, Japan); Hata et al., 2016: 44, figs. 1, 2 (Kasasa and Kuchino-shima island, Tokara Islands, Kagoshima Prefecture, Japan).

**標本** KAUM-I. 55310, 体長 98.4 mm, 鹿児島県指宿市知林ヶ島沖 (31°16'38"N, 131°40'18"E), 水深 25 m, 2013 年 6 月 14 日, 定置網 (鹿児島市中央卸売市場魚類市場にて拾う), 岩坪洗樹.

**記載** 背鰭条数 XI-I, 15; 臀鰭条数 II, 15; 胸鰭軟条数 24; 腹鰭条数 I, 5; 鰓耙数 10 + 20 = 30.

体各部測定値の体長に対する割合 (%) : 頭長 32.5; 胸鰭基底上端における体幅 11.7; 最大体幅 11.9; 背鰭中央部における体高 23.7; 腹鰭起部から臀鰭起部までの長さ 32.0; 第 1 背鰭前長 37.5; 第 2 背鰭前長 65.2; 胸鰭前長 34.2; 肛門前長 63.8; 臀鰭前長 66.9; 吻長 9.1; 眼径 9.0; 眼隔域幅 8.7; 眼後長 14.5; 尾柄高 5.3; 尾柄長 9.3.

体は前後方向に長い長楕円形で側扁する。体高は背鰭第 7 棘起部で最大。体幅は胸鰭基底下端より僅かに後方で最大。体背縁は上顎先端から背

鰭第 7 棘条起部にかけて緩やかに上昇し, そこから尾鰭基底にかけて緩やかに下降する。体腹縁は下顎先端から腹鰭起部にかけて緩やかに下降し, 臀鰭起部にかけて体軸に対して平行となり, そこから尾鰭基底にかけて緩やかに上昇する。胸鰭基底上端は鰓蓋後縁より僅かに後方に位置し, 胸鰭基底下端は腹鰭起部より僅かに後方に位置する。胸鰭後端は尖り, 背鰭第 7 棘起部直下と第 8 棘起部直下の間に達するが, 肛門には達しない。腹鰭起部は胸鰭基底下端よりも僅かに前方に位置する。腹鰭基底後端は背鰭起部よりも僅かに前方に位置する。たまた腹鰭の後端は肛門に達しない。背鰭起部は胸鰭基底上端, 腹鰭起部より僅かに後方に位置し, 背鰭基底後端は臀鰭基底後端よりも僅かに後方に位置する。臀鰭起部は背鰭第 2 軟条起部直下に位置し, 臀鰭基底後端は背鰭基底後端よりも僅かに後方に位置する。尾鰭は二叉型で, 深く湾入する。眼は大きく, 頭長の 27.7%。眼と瞳孔はともに正円形。鼻孔は 2 対で前鼻孔と後鼻孔は互いに近接し, 吻端に位置する。前鼻孔は正円形を呈し, 後鼻孔は背腹方向に長い楕円形。両鼻孔に皮弁は無い。口は小さく端位。上顎後端は丸みを帯び, 眼の前縁には達しない。前鰓蓋骨と鰓蓋骨後縁はともに円滑。前鰓蓋骨屈曲部は後方に伸長する。鰓耙は細長い。鰓弁は細長いフィラメント状。肛門は前後方向に長い楕円形を呈し, 臀鰭起部直前に開孔する。背鰭前方鱗被鱗域の先端は眼の後端に達するが, 両眼の瞳孔中央を結んだ線には達しない。両顎には内側に僅かに湾曲した細長い小円錐歯が 1 列に並ぶ。鋤骨と口蓋骨には歯が無い。側線は完全で, 鰓蓋上方から始まり, 体背縁と平行に尾鰭基底にかけて入る。

**色彩** 生鮮時の色彩 — 体は一様に鈍い銀灰色。体背面から体側上部にかけてと背鰭, 胸鰭および腹鰭には不規則な黒色の雲状斑がはいる。臀鰭各鰭条は白色半透明。尾鰭は淡い黒色で, 基底付近が若草色を呈する。虹彩は銀色で, 瞳孔は青みがかった黒色。

固定後の色彩 — 体側上部は淡い茶褐色となり, 体側の不規則な雲状斑は紫がかかる。

**分布** 日本国外では紅海南シナ海, フィリピ

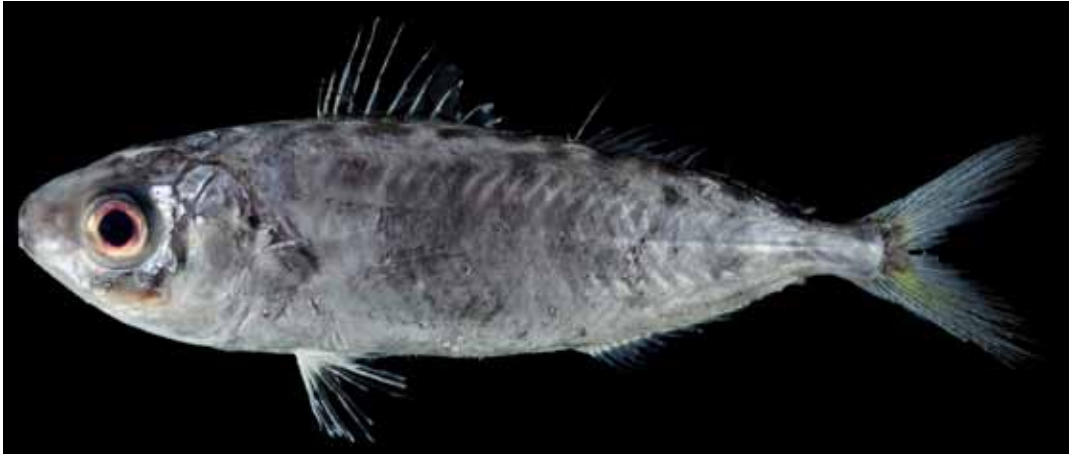


Fig. 1. Fresh specimen of *Ariomma brevimanum*. KAUM-I. 55310, 98.4 mm standard length, Kagoshima Bay, Kagoshima Prefecture, southern Japan.

ン、インドネシア、マリアナ諸島、およびハワイ諸島から知られている (Jordan and Snyder, 1907; Fowler, 1923; 久新ほか, 1982; Karrer, 1984; Ajid and Mahasneh, 1986; Last, 2001; Ho et al., 2010, 2013; 中坊・土居内, 2013; Bos and Gumanao, 2013; Chen and Thang, 2015). 国内では神奈川県三崎, 三重県志摩, 和歌山県串本, 高知県土佐湾, 大分県豊後水道, 熊本県天草, 鹿児島県薩摩半島西岸, トカラ列島口之島, 奄美群島与論島, および沖縄諸島沖縄島から記録されていた (中坊・土居内, 2013; 畑, 2014; 畑ほか, 2016) が, 本研究によって新たに鹿児島湾における分布が確認された。

**備考** 鹿児島湾産の標本は, 体高が体長の23.7%であること, 眼径が頭長の27.7%であること, 背鰭前方被鱗域の先端が両眼の瞳孔中央を結んだ線に達しないこと, 前鰓蓋骨屈曲部が後方に伸長すること, 胸鰭軟条数が24であることが Haedrich (1967) や Haedrich and Horn (1972) の報告した *A. evermanni* Jordan and Snyder, 1907 と Last (2001), 中坊・土居内 (2013) の報告した *A. brevimanum* の標徴とよく一致したため, 本種と同定された。なお, *A. evermanni* は現在, *A. brevimanum* の新参異名とされている (Karrer, 1984)。

*Ariomma brevimanum* の日本における分布状況については畑ほか (2016) によって詳述されている。それ以降, 本種の日本国内における記録は無く, 記載標本は鹿児島湾における本種の初めての記録となる。

畑ほか (2016) は, 本種の若魚 (体長 241.0 mm) が表層性である可能性を示唆した。本研究における記載標本 (体長 98.4 mm) も, 水深 25 m に設置された定置網によって得られており, ミナミメダイの幼魚が若魚同様, 浅海域を主な生息域とする可能性が示唆される。

#### ■ 謝辞

本報告を取りまとめるにあたり, 鹿児島大学総合研究博物館ボランティアと同博物館魚類分類学研究室の皆さまには適切な助言を頂いた。標本の採集に際しては鹿児島市中央卸売市場魚類市場の関係者の皆様には多大なご協力を頂いた。以上の方々に謹んで感謝の意を表す。本研究は鹿児島水圏生物博物館の「かごしま市場の魚図鑑プロジェクト」と鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」の一環として行われた。本研究の一部は笹川科学研究助成金 (28-745), JSPS 研究奨励費 (DC2: 29-6652), JSPS 科 研 費 (19770067, 23580259, 24370041,

26241027, 26450265), JSPS 研究拠点形成事業—アジア・アフリカ学術基盤形成型—「東南アジア沿岸生態系の研究教育ネットワーク」, 国立科学博物館「日本の生物多様性ホットスポットの構造に関する研究プロジェクト」, 文部科学省特別経費「薩南諸島の生物多様性と其の保全に関する教育研究拠点整備」, および鹿児島大学重点領域研究環境(生物多様性プロジェクト)学長裁量経費「奄美群島における生態系保全研究の推進」の援助を受けた。

## 引用文献

- Ajid, A. M. and Mahasneh, D. M. 1986. Redescription of *Ariomma brevimanus* (Klunzinger, 1884), a rare stromateoid from the Gulf of Aqaba (Red Sea). *Cybium*, 10: 135–142.
- Bos, A. R. and Gumanao, G. S. 2013. Seven new records of fish (Telestei: Perciformes) from coral reefs and pelagic habitats in southern Mindanao, the Philippines. *Marine Biodiversity Records*, 6: 1–6.
- Chen, D. and Zhang, M. 2015. Marine fishes of China. China Ocean University Press, Qingdao. 2154 pp.
- Fowler, H. W. 1923. New or little-known Hawaiian fishes. Occasional Papers of the Bernice Pauahi Bishop Museum of Polynesian Ethnology and Natural History, 8: 373–392.
- Haedrich, R. 1967. The stromateoid fishes: systematic and a classification. *Bulletin of the Museum of Comparative Zoology*, 135: 31–139.
- Haedrich, R. L. and Horn, M. H. 1972. A key to the stromateoid fishes. Woods Hole Oceanographic Institution Technical Report, 1972 (3): 1–46.
- 畑 晴陵. 2014. ミナミメダイ *Ariomma brevimanus* (Klunzinger, 1884). P. 583. 本村浩之・松浦啓一(編), 奄美群島最南端の島 与論島の魚類. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島, 国立科学博物館, つくば.
- 畑 晴陵・伊東正英・本村浩之. 2016. 鹿児島県から得られたオオメメダイ科魚類ミナミメダイ *Ariomma brevimanus*. *南紀生物*, 58: 44–47.
- Ho, H.-C., Chiang, W.-C., Shao, K.-T. and Chang, C.-W. 2010. Description of four new records and a key to the stromateoid fishes in Taiwan. *Journal of the Fisheries Society of Taiwan*, 37: 253–262.
- Ho, H.-C., Lin, C.-J. and Yang C.-R. 2013. New records of five species from the Green Island, Orchid Island and Kenting, Taiwan. *Platax*, 10: 73–80.
- Jordan, D. S. and Snyder, J. O. 1907. Notes on fishes of Hawaii, with descriptions of new species. *Bulletin of the Bureau of Fisheries*, 26: 205–218.
- Karrer, C. 1984. Notes on the synonymies of *Ariomma brevimanus* and *A. luridum* and the presence of the latter in the Atlantic (Teleostei, Perciformes, Ariommatidae). *Cybium*, 8: 94–95.
- Klunzinger, C. B. 1884. Die Fische des Rothen Meeres. Eine kritische Revision mit Bestimmungstabellen. I. Theil. *Acanthopteri* very Owen. Stuttgart. ix + 133 pp., 13 pls.
- 久新健一郎・尼岡邦夫・仲谷一宏・井田 斉・谷野保夫・千田哲資. 1982. 南シナ海の魚類. 海洋水産資源開発センター, 東京. 333 pp.
- Last, P. R. 2001. Ariommatidae Ariommas. Pp. 3780–3783, in Carpenter, K. E. and Niem, V. H. eds. *FAO species identification guide for fishery purposes. The living marine resources of the western central Pacific. Vol. 6. Bony fishes part 4 (Labridae to Latimeriidae), estuarine crocodiles, sea turtles, sea snakes and marine mammals*. FAO, Rome.
- 益田 一・荒賀忠一・吉野哲夫. 1975. 魚類図鑑 南日本の沿岸魚. 東海大学出版会, 東京. 378 pp.
- 御前 洋. 2002. いそこじき (21) 串本初記録の魚 5 種の紹介. 串本海中公園バビリオン, 31 (5): 2–3.
- 本村浩之. 2009. 魚類標本の作製と管理マニュアル. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 70 pp.
- 中坊徹次. 1984a. ミナミメダイ. P. 227, pl. 352-N. 益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫(編). *日本産魚類大図鑑*. 東海大学出版会, 東京.
- 中坊徹次. 1984b. ナガメダイ. P. 227, pl. 234-B. 益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫(編). *日本産魚類大図鑑*. 東海大学出版会, 東京.
- 中坊徹次・土居内 龍. 2013. オオメメダイ科. Pp. 1084, 2042. 中坊徹次(編). *日本産魚類検索 全種の同定*, 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
- 岡村 収. 1997. ミナミメダイ *Ariomma brevimanus*. P. 663. 岡村 収・尼岡邦夫(編), *山溪カラー名鑑 日本の海水魚*. 山と溪谷社, 東京.
- 鈴木 清・片岡照男. 1997. 三重の海産魚類. 鳥羽水族館, 鳥羽. 297 pp.
- 鈴木 清・塚田 修・山本 清・古田正美. 1995. 熊野灘で採集されたイボダイ亜目魚類の 4 稀種. *鳥羽水族館年報*, 6: 61–67.
- Tabeta, O. and Ishida, K. 1975. Occurrence of the stromateoid fish *Ariomma brevimanus* in southern Japan. *Japanese Journal of Ichthyology*, 22: 175–178.
- 山田和彦・工藤孝浩. 2000. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・IX. *神奈川県自然誌資料*, 21: 25–31.